

# 多摩永山中学校だより

編集・発行 校長 佐藤 信雄

<http://schit.net/tama/ihtamanagavama/>

## 子どもたちはなぜ幸福なのだろうか？

校長 佐藤 信雄

『星の王子さま』には、遠い星から地球にやって来た王子さまが、この地上のどこかで、転轍手(てんてつしゅ)と会話する場面があります。転轍手とは、列車の通る線路を切り換えて、列車を別の線路に導くための装置(転轍・ポイント)を操作する係員です。「知らないなあ」と思う人も多いことでしょう。私たちは本物の転轍手を生で見たことはないはずですが、今は電気仕掛けになって、レールは自然と切り替わります。しかし昔は、転轍手が列車が通る時間になると手でレールを切り換えていました。作品では「スイッチ・マン」と呼ばれています。その場面を少し紹介します。



昔の転轍(ポイント)と転轍小屋

「こんにちは」と、王子さまがいました。「こんにちは」と、<sup>スイッチマン</sup>転轍手がいました。  
「何してるの、ここで？」と王子さまがいました。  
「旅客を、千人ずつ荷物にして、えりわけてるんだよ。おれの送り出す汽車が、旅客を右に運んでいたり、左に運んで行ったりするんだ」と、スイッチ・マンがいました。  
そこへ、キラキラとあかりのついた特急が、雷のごうごうと、転轍小屋をふるわせてゆきました。  
「みんな、たいへんいそいでいるね。なにさがしてるの、あのひとたち？」  
「それ、機関車にのっている男も知らないんだよ」  
するとまたもう一つのキラキラとあかりのついた特急が、こんどは反対の方向へごうごうと走ってゆきました。  
「みんな、もう、もどってきたんだね」と王子さまがききました。  
「あれ、おんなじ客じゃないんだ。すれちがったんだよ」と、スイッチ・マンがいました。  
「じぶんたちのいるところが、気にいらなかったってわけかい？」  
「人間ってやつあ、いるところが気にいることなんて、ありやしないよ」と、スイッチ・マンがいました。  
すると、キラキラとあかりのついた三ばんめの特急が、ごうごうと音をたてて通りました。  
「初めのお客を、おっかけてるんだね？」と、王子さまがききました。  
「なんにもおっかけてやしないよ。あの中で眠っているんでなけりゃあ、あくびしてるんだ。子どもたちだけが、窓ガラスに鼻をびしゃんこにおしつけているんだよ」  
「子どもたちだけが、なにがほしいか、わかっているんだね。きれいでできた人形なんかで、ひまつぶしして、その人形を、とてみたいせつにしてるんだ。もし、その人形をとりあげられたら、子どもたちは、泣くんだ……」と、王子さまがいました。

「子どもたちは幸福だな」と、スイッチ・マンがいました。

(サン・テグジュペリ『星の王子さま』 内藤 濯 訳 岩波書店 学校図書館では「953 サ」)

生徒のみなさん、不思議に思いませんか？ 「たいせつにしている人形をとりあげられたら、子どもたちは泣く」のに、その子どもたちをスイッチ・マンはなぜ「幸福だな」と言うのでしょうか？ なぜ子どもたちは幸福なのでしょう？

ただ急ぐだけで、何を狙っているのか、何を求めているのか、なぜ急いでいるのかも分からないでいる大人たちです。大人たちは窓の外に興味のあるものを探すこともなく、何も期待せず、眠っているかあくびをしています。けれども、子どもたちは、窓ガラスに顔を押しつけるようにして、何かを探し求めています。期待をしています。そして、奪われたら悲しくなる、大切なものをもっています。子どもたちは、自分には何が大切なのかを分かっています、何かを心から求めています、大人と違って。

おそらくそう考えているから、スイッチ・マンはああ言ったのではないのでしょうか？ ですから、七夕で短冊に願いごとを書き記した生徒のみなさんもまた、幸福なのです。大切な願いを、叶えたい夢をもっているのですから。あの七夕の短冊は、本当に素敵でした。(笠井信輔さんも笑顔で読んでおられました)

今、あなたが抱く夢を私はあなたに教えてほしいです。夢が叶うまでの道のりも、それ自体が幸福です。



みんなの願い 七夕の笹

## 笠井信輔さんありがとうございました！ がん教室

7月2日（火）4校時、2・3年生を対象としたがん教室を開催しました。日本人の死因の1位にあり、3人に2人ががんで亡くなると言われています。がんを正しく理解し、ただ恐れるだけではなくしっかりと向き合い、がんと闘う方々とお互いに励まし合い、支え合うことを学んでほしい。こうした願いから、今回のがん教室の講師には、以前はフジテレビのアナウンサーとして、今はフリーアナウンサーとして活躍しながらがんの治療経験をもとに講演も続けていらっしゃる、笠井信輔さんにおいでいただきました。実は笠井さんは、本校に勤務するスクールカウンセラーの菅野由里子先生と高校の同級生で、修学旅行の班も同じだったそうです。今回は菅野先生を通して笠井さんにおいでいただくことができたのです。人のご縁とはありがたいものです。

子どものころから司会者になりたいと願っていたこと、アナウンサーとして働いていたフジテレビ時代のお話、フリーになってがんが発病した時の驚き、身につまされるご自身の闘病の経験談、そして闘病を支えてくれた家族や友達とのやり取り、『鬼滅の刃』の励まし、明日を生きる生徒へのエールと、あっという間の1時間でした。笠井さんのお人柄と講演の内容がいかに素晴らしかったかは、いつもは大人しい本校生徒が会場でたくさん質問を寄せたこと、講演後のアンケートに真剣に鉛筆を走らせていたことからよく分かりました。

笠井さんは、お昼に生徒会役員と給食をとりながら談笑してくださり、がん体験を振り返ってお書きになったご自分の著作を学校に届けますよとおっしゃって、笑顔で本校を後にされました。

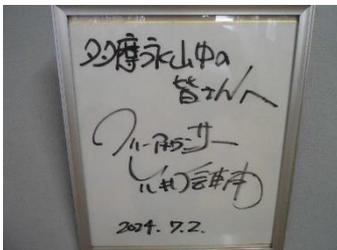
笠井信輔さん、本当にありがとうございました。これからテレビなどでお見かけするのを楽しみにしています。



明るく楽しい講演です



生徒会役員と給食。みんな少し緊張～



飾られた笠井さんの色紙



みんなの感想と御礼が届けられます

## そうだ、図書館へ行こう！

がん教室が終わって間もなく、笠井さんからレターパックが届きました。中には、笠井さんのがん闘病がつづられたご著作が2冊、入っていました。講演の中で「僕の本を学校にお送りしますから、よかったら読んでください」とおっしゃられていたので、早く読みたいと期待していた生徒の中には、司書の宮居先生に「届いていませんか？」と尋ねてくれた人もいらしたとのこと。こんなエピソードをお聞きになったら、さぞかし笠井さんもお喜びになるでしょうね。2冊とも到着後すぐに宮居先生に開架していただきましたから、いつでも読むことができます。よかったらぜひ、ご家族とご一緒にお読みください。



お送りいただいたご著作です。

## 躍進する、たまながの生徒の皆さん

敬称略

### ○囲碁

第45回文部科学大臣杯少年少女囲碁大会 兼 第57回東京都中学校囲碁大会 6月16日（日） 日本棋院  
Aブロック 第3位 山本 創樹（1年）

### ○剣道部

第24回第7ブロック夏季剣道大会 6月29日（土） 町田市立忠生中学校  
優勝 男子団体 都大会出場決定！

### ○女子バスケットボール部

73地区中学校バスケットボール選手権大会 第3位 6月29日（土）

### ○女子バレーボール部

第7ブロックバレーボール選手権大会 6月30日（日）  
第5位 都大会出場決定！



## 上級学校の先生のお話を聞く会、開催される これからは自分でも

7月12日（金）、高校の先生方をお招きしたお話を伺う進路の取組が開かれました。都立高校2校、私立高校2校の先生から、都立と私立の特徴や学校選びのポイントがどこなのか？ 総合学科の魅力とは？など、各高校のPRも含めてお話をいただきました。一口に「高等学校（高校）」と言っても、私たち一人ひとりにみんな個性があるように、高校にもいろいろな特徴と違い、つまり個性があることが改めて分かりました。生徒の皆さんはご自分の青春をかける場所なので、学校選びには慎重のうえにも慎重になり、よく考えて選んでください。特に、夏休みから秋にかけて開催される高校の説明会や体験会、文化祭などには自分で足を運び、実際にその学校の様子を自分で体験していただくことをお勧めします。それはなぜか？ 「あなたが」選んで行く場所だからです。

ここで耳寄りなお話を。7月28日（日）に、都立永山高校を会場にした地域密着型の学校&教育相談会「さんだるセミナー in 多摩永山」が開催されます。30校以上の高校、高等専門学校が集まり、午前中には校種別のリレーガイダンスを、午後には個別の相談会を行います。

1年生、2年生の皆さんも今の内から参加することはとても良いことです。進学したい学校を選ぶためには、学校のことをよく知った上でないと、自分にとって適切な判断はできません。1、2年生の皆さんも遠慮することなく、参加してみてください。1年生の皆さんは4月に中学生になったばかりですが、3年後は高校生なのです。

事前予約が必要で、上履きを持参してください。駐輪場もあります。詳しくは先日配布したチラシか、「さんだる相談会」で検索するとヒットします。下記に予約用のQRコードを載せますので、参考にしてください。



QRコード

左が午前の部の、右が午後の部の予約コードです



QRコード



みんな、真剣に聞いています



パンフレットを読みこみます



生徒の皆さんは、こうしたいろいろな高校の個別相談に参加したり、インターネットでいくつか興味をもった高校を絞り込んでから、それぞれの学校の見学に向うのも、よいでしょう。7月1日には、都立高校PRサイト「#だから都立高(PROJECT TORITSU)」がリニューアルされました。各都立高校の紹介コンテンツが追加されています。ご覧になることをお勧めします。もちろん、1、2年生の皆さんも時間のある時に積極的に見てください。進路を決めるうえでの参考になるとと思います。

←都立高校PR サイト「#だから都立高」

<https://www.toritsuko.metro.tokyo.lg.jp/>

## ブラッシング講習会、セーフティ教室のご報告

7月5日（金）、1年生を対象にブラッシング講習会が、2・3年生を対象にセーフティ教室が開かれました。

ブラッシングは健康の根源であり、歯周病の予防のため、自身の歯で長く生きていくためにも、適切なブラッシングが欠かせませんという講習会でした。きちんと歯を磨かないと、口腔内にどれだけ歯周病菌が生まれるかを、顕微鏡で撮影した動画を視聴して理解しました。磨き残しを染めてみると、いかにきちんと磨けていないかが分かりました。生徒の皆さんがこれから60年、70年と自分の歯で食事を楽しめる健康な人生を送るためにも、とても有意義な講習会でした。学校歯科医と歯科衛生士の皆様、ありがとうございました。



汗だくで熱弁する警察の方でした

セーフティ教室は、多摩中央警察署から生活安全課少年係の係長様やスクールサポーターの方をお招きしての講話でした。私たちが地域社会で生きていくなかで、犯罪の被害者にも加害者にもならないためにはどうしたらよいかを考える貴重な機会となりました。特にSNSを使った詐欺行為は中学生にも迫ってきています。高校生が闇バイトで逮捕された事件もありました。警察署の方が口をそろえておっしゃっていた「おかしいな、まずいなと思ったら、やめる。大人や警察に相談する。もうやめられないなどと思わないで！」という言葉が印象的でした。

その後は警察の皆様と保護者の皆様と教職員とで懇談しました。警察の皆様働きや地域の皆様のおかげで多摩市は安全です。その大切さを感じられた機会でした。



1年生は真面目に取り組みました